

薬学実習 3

責任者・コーディネーター	臨床医化学分野 那谷 耕司 教授		
担当講座・学科(分野)	薬剤治療学分野、臨床医化学分野、地域医療薬学分野		
対象学年	4	区分・時間数	実習 30 時間
期 間	前期		
単 位 数	1 単位		

・ 学習方針（講義概要等）

薬学実習 3 では、患者さんの状態を把握する手段として、脈拍、血圧などのバイタルサインの測定や視診、触診、聴診といった「フィジカルアセスメント」によって患者さんから直接情報を得る能力を身につける。さらに、医療薬学および症例・処方解析学に関連する講義で得た種々の疾患の病態と薬物治療に関する基本知識に基づき、指定された症例について情報を集めてグループ討議を行う。本実習は、「フィジカルアセスメント実習」と「症例解析学実習」の連携を図りながら、実務基礎実習と連動して系統的に行う。そのため、全日程の出席と各分野の担当する実習全てに合格することを原則とする。

・ 成績評価方法

各実習の評価を総合して、成績評価とする。

・ 特記事項・その他

担当分野からの指示が記載されている場合には、それに従うこと。記載がない場合には、各実習時期に担当分野からの指示に従うこと。